

支店別議案説明会質疑応答

9月9日から12日、管内7会場で支店別議案説明会が開催されました。組合員の皆さまから寄せられた貴重なご意見・ご質問の一部をご紹介します。

〔黒石支店〕

Q. ヘリコプターの防除は現在1回・2回と選べるようになっていたが2回散布しなければ品質保証の観点からCEを利用出来ないような対策を講じて欲しい。またヘリコプター防除の時期を早めるなど散布期間を見直してほしい。

A. ヘリコプター防除は2回防除を推奨しているが、組合員に対して強制は出来ません。

Q. 田の雑草で近年「ミズアオイ」という種類が増えてきているので、「ミズアオイ」の防除指導をしてほしい。

A. 現在の除草剤はカイリキZを使用しています。カイリキZは今年3年目となり適期使用を指導しているが「広葉雑草」の除草は難しい面があり、カイリキZで防除しきれない箇所はバサグランで対応しています。来年度は新たな除草剤になる予定ですので防除の指導をしていきます。

Q. 農協はりんごの精算が高いがそれ以上に経費が高いので、例えばコンテナの使用料を無くするなどどこかの箇所経費を下げてほしい。

A. 経費の部分はりんごの販売金額に応じた割合で決まっています。市場手数料が6〜7%、全農手数料1%、農協手数料2%となるので販売金額が高くなると連動して控除額も高くなってしまします。また近年資材や運賃も高騰しておりその部分も若干値上げをしています。コンテナの使用料も合併前は40円だったのがその後20円に下げたものの、コンテナ等を取戻すためまた40円に戻っています。経費増をカバー出来るようにいろいろな形で販売努力をしますのでご理解いただきたいと思っています。

〔平賀支店・平賀東支店〕

Q. 今年大雪でりんごも被害をうけ、県知事が園地を視察しりんごの災害と言っている。災害であればそれなりに対処し予算付けするが、まだそのような話がない。中央会ではどのような話になっているのか。

A. 今年大雪でりんごも被害をうけ、県知事が園地を視察しりんごの災害と言っている。災害であればそれなりに対処し予算付けするが、まだそのような話がない。中央会ではどのような話になっているのか。

〔常盤支店〕

Q. まっしぐらとはれわたりについて、はれわたりは特A米でありまっしぐらと買取価格が同等なのはおかしいのではないか。はれわたりの価格を上げてもらいたい。また、カントリーではれわたりの荷受けを行っているのはどうしてか。

A. 当農協の概算金は全農からのJA概算金相当額及び買取価格の提示を基に決定しているのでそのような価格設定となっています。当農協としても販売には努力してまいります。はれわたりはまだ作付、種子が量的にも少ない状況にあります。今後ははれわたりの数量が増えれば状況を見ながら入庫の検討をしてまいります。

〔石川支店〕

Q. 「直売事業」（第六次農業振興計画）の中で、新たに取組んだ動画配信やSNSの具体的な内容は。

A. SNSの動画配信を利用して、会員の商品納品から販売までの一連の流れやインスタグラムを利用し消費者に対して、商品やイベント等をアピールし販売高の増加に努めています。

Q. 本年産りんごの集荷率を高めるためにも、入庫仮渡金の値上げを検討してほしい。（要望）

A. 明日（9月11日）開催の臨時理事会で、米の追加概算金とともに、りんごの入庫仮渡金についても協議し、増額の方向で検討いたします。

A. 県や市でも施策をしており、広報等でお知らせしています。果樹事業に関しては各産地協議会で受付しております。また当JA独自でも支援しております。

Q. 葉取らずりんごを本格的に販売することに敬意を表します。昔、アメリカの品種レッドデリシャスなど外見は良いが、不味い、渋いなどの理由で売れなかった経緯より、消費者は外見より味を期待しているので、自信を持って葉取らずりんごの販売をしてもらいたい。

A. 葉取らずりんごのJAの取組みが遅れたことを申し訳なく思っております。今年より、サンツがる、サンふじの葉取らずりんごを取扱うこととなり、高値で販売できるよう努力いたしますのでよろしくお願いいたします。

Q. 最近、米、りんごが高値で税金の申告に大変苦慮しているのので、申告のアドバイスをして欲しい。

A. JAで青色申告の指導をしていますので、是非青色で申告して下さい。

〔田舎館支店〕

Q. 組合員団体の助成金が減額されている。物価高の影響により思うような活動が実施されていない。100円でも200円でも値上げして欲しい。

A. 鵬和会・みらい会・実行組合・支部

〔板柳支店〕

Q. 「JAへの女性参画目標」について、現状のままでは目標達成は難しいのではないかと思うが、実現に向けて取り組んでいることはあるか伺いたい。また、組合員数が年々減少してきているが、増加に向けたPR活動等は行っているか伺いたい。

A. 総代の改選時に女性参画を進めていきましたが、結果には結びついていない、今のところこれといった対策に至っていませんが、引き続き検討していきたいと考えております。組合員増加に向けた活動として、後継者育成や新規就農者支援など、若い農業者を確保していきたいと考え、各部会などにも協力を仰ぎながら動いており、こちらにも引き続き行っています。

〔農業振興支援助成事業〕の苗木助成について、苗木店で在庫がない状況であるために申し込むことが出来ない。来年度以降も事業を継続するのか伺いたい。

A. 第六次農業振興計画の雪害復興としての位置付けであり、三年は継続する考えで、苗木については各苗木店にも協力を仰ぎながら対応していきたいと考えております。

長協議会とも1戸当り1,500円で統一して支払っています。これ以上下げる予定はないので、ご理解願いたいと思っております。

Q. RKT—GNSS基地局については、どこ部署で対応するのか。スマート農業が所得増大につながるのか。

A. 各GCの指導担当者にお問い合わせをお願いします。スマート農業により、農業者の減少に対応した効率的な農業経営により所得増大が見込まれます。

Q. 直播栽培によるJA米のCEでの荷受けについては、農薬節減米との同時入庫と考えて良いのか。その場合1日とか2日間だけの荷受けとなるのか。

A. 農薬節減米（クリーンライス）が終了した後となります。荷受期間は全体の作付面積及び申し込み状況で判断したいと考えております。

〔尾上支店〕

Q. 前年度、農林中金では多大な損失を計上しております。当農協でも外部出資が増額されたようですが、これによって配当金とか最低の担保はされているのか。

A. 保有していた主にアメリカの国債が急激な金利上昇により多額の含み損を抱えてしまいました。含み損というのは売れば損をするということですが、何故



その他多くのご意見・ご要望をいただきました。今後は1つ1つを真摯に受け止めて参考にし、事業運営に努めてまいります。